



M. Tanaka  
田中正則

## 明るく賑やかな森

里山は昔から人々の暮らしとともにありました。  
打てば響く関係にあり、人々の働きかけにより山は様々な恵みを与えてくれました。

かつて、人々は暮らしに必要な資材を得るために、山に入りました。山は人々の手入れの見返りに薪や堆肥などの多くの資材のほか、季節ごとに花々を咲かせ鳥や虫を誘い、暮らしに明るさや賑わいを与えてくれていました。

しかし、人々は暮らしが便利になるにつれて、山に入らなくなりました。それとともに、山は暗くなり静かになりました。そればかりか嵐が度々襲うようになりました。

今、多くの人々は失ったものがとてもかけがえのないものであった事に気づきました。季節ごとの賑わいだけでなく、子どもの学習の場であったこと、さらには地球温暖化防止のためにも重要であったことに気づきました。

「ペコちゃんの森」はそんなことに気づいた人々の思いを受け止めてくれる素晴らしい可能性をもっている里山です。多くの人々が山に再び入ることにより、かつての輝きを取り戻すことはもちろん、セラピーやコンサートなど新しい思いにもこたえてくれるに違いありません。

夢をもつ多くの人々が親子連れで「ペコちゃんの森」を訪れることにより、ペコちゃんのように人々に愛され、明るく賑やかな森になるものと信じています。

(社)国土緑化推進機構 専務理事 田中 正則

社団法人 国土緑化推進機構ホームページ  
<http://www.green.or.jp>